

令和6年度使用  
小学校及び義務教育学校（前期課程）  
教科用図書選定資料

岡山市教科用図書選定資料 教科（国語）種目（国語）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 文章全体の構成を捉えて考えたり、複数の資料を関連付けて考えたりすることに課題がある。  
 ② 文章における語句の関係性を理解し、読み解いていくことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実生活で目にするテキストや写真、図を数多く取り入れた教材を取り上げ、複数の情報をつないで読み比べることによって言語能力の向上につながるように工夫されている。</li> <li>○ 各単元の導入では、見開きで写真や挿絵、学習の流れが示されており、児童が興味をもったり、見通しをもって自ら取り組めたりできるように工夫されている。</li> <li>○ 「取り組む」では、単元のめあてが冒頭に示されるとともに各場面での思考、判断、表現につながる問いが設けられている。</li> </ul>	<p>3年上 P. 94、95                      4年上 P. 94～97                      6年 P. 94～97</p> <p>3年上 P. 42、43                      6年 P. 152、153</p> <p>2年上 P. 46、47                      3年下 P. 124、125</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「見通しをもとう」では、思考、判断、表現する過程が児童の問いや吹き出し、キーワードとして分かりやすく示されている。</li> <li>○ 巻末付録では、児童が学習を振り返ったり、自主的な学習に活用したりすることができるよう、「言葉の工具箱」「言葉の木」などが提示されている。</li> <li>○ 学習活動を支える思考ツールや図等を示し、児童の思考操作を促す工夫がなされている。</li> </ul>	<p>2年上 P. 114、115                      5年下 P. 62、63</p> <p>4年上 P. 152～                      154                      6年上 P. 137、138</p> <p>3年下 P. 121                      6年下 P. 26</p>
38 光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童自らが問いをもち、課題解決に向かうことができるように、児童の思いを出発点とする「問いをもとう」が設けられている。</li> <li>○ 単元末の「ふり返ろう」では、児童が三つの観点で自分の学習を振り返り、学んだことを次の学習に生かすことができるようになっている。また、学習を深める場面では観点を選択して取り組むことができるようになっており、様々な観点から考えられるようになっている。</li> <li>○ 説明的文章において、二教材構成で段階的に学んだり、複数の文章を活用したりすることができるように工夫されている。また、児童が読みやすいフォントが使用されている。</li> </ul>	<p>2年下 P. 94                      3年下 P. 50</p> <p>3年下 P. 135                      4年下 P. 46                      6年 P. 225</p> <p>1・2年全体                      6年 P. 96、97</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（国語）種目（書写）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 漢字、仮名の字形を整えて、丁寧に文字を書こうとする意識が低いという課題がある。  
 ② 手書きの文字を書く機会が減っている現状もあり、日常生活で学習したことを生かしたり、相手や目的に応じて書いたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<p>○ 文字を整えて書くための学習事項が「学習すること」「書写のかぎ」として、発達段階に応じて分かりやすく示されており、知識や技能の定着につながるようになっている。</p> <p>○ 各学年の実態に応じて、複数の字形の中から整った文字を見付けたり、読みやすくするためのポイントを考えたりする学習活動が設定されており、話し合いにより自分の考えを再構築できるように工夫されている。</p> <p>○ 学んだことを生かし、自分のめあてに合わせて書いたり、日常生活で使える場面がイメージしやすくなったりしている。</p>	<p>1年P.48 6年P.42～44</p> <p>3年P.12 4年P.33</p> <p>1年P.29 3年P.37、38</p>
17 教 出	<p>○ 「レットライ」「書いて伝え合おう」のページでは、身に付けた書写の力を他教科等の学習に活用できるように関連が図られている。</p> <p>○ 第1学年の「はじめのがくしゅう」では、よい姿勢に加え、消しゴムの使い方が写真で示されたり、第3学年の「はじめの学習」では、用具の扱い方や姿勢・筆の持ち方などが写真やイラストで示されたりしており、硬筆・毛筆の基礎・基本の定着につながるようになっている。</p> <p>○ 海外で筆を使っている様子や昔の文字の写真が紹介されており、日本の文化を理解し、伝えていこうとする意識を高められるようになっている。</p>	<p>4年P.28、29 4年P.47～49 6年P.16、17</p> <p>1年P.4、5 3年P.6、7</p> <p>6年P.18、19</p>
38 光 村	<p>○ 「しょしゃたいそう」が設けられ、疲れにくく集中しやすい姿勢が維持できるように工夫されていたり、筆圧の加え方が数値化されていたりするなど、基礎・基本の定着につながるよう工夫されている。</p> <p>○ 「なぞとき」が設けられており、児童が考えをもったり話し合ったりする活動に取り組みやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○ 複数の色が組み合わさっている場合は、色覚の多様性に対する配慮がされており、誰もが明確に識別できるように工夫されていたり、余白を多めにとって見やすく示されたりしている。</p>	<p>1年P.4、5 3年P.30</p> <p>2年P.12、13 3年P.40</p> <p>2年P.8、9 4年P.12、13</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会）種目（社会）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 学習の見通しをもつことや社会的事象を多面的・多角的に考え、問題解決していくことに課題がある。
- ② 読み取った情報を基に話し合い、学びを広げたり、深めたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書 書	<p>○ 学習計画を立てる場面が分かりやすく示され、児童が見通しをもって問題解決を進めていくことができるようになっている。また、「ふり返り」を意識した活動が設定され、問題発見・解決能力を育む工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の該当箇所から二次元コードを読み取ることで、導入動画やインタビュー動画、ワークシートなどの多様なデジタルコンテンツにアクセスでき、児童が学びを広げることができるように工夫されている。</p> <p>○ 第5学年、第6学年は2冊に分かれており、持ち運ぶ際の負担軽減が図られているとともに、学習内容によって使い分けができるようになっている。</p>	<p>3年 P. 93 5年下 P. 99、103</p> <p>3年 P. 41 4年 P. 31 5年上 P. 59 6年政治・国際編 P. 35</p> <p>5年上下 6年上下</p>
17 教 出	<p>○ 「社会科で使う見方・考え方」が、登場するキャラクターの吹き出しの中に太字で目立つように示されていることで、児童が見方・考え方を意識して働かせ、考えたり表現したりできるように工夫されている。</p> <p>○ 単元末に「もっと知りたい」のページが設けられており、児童の意欲や関心に応じて学習を広げたり深めたりできるように工夫されている。</p> <p>○ 本時が「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の流れのどこに位置付くかがインデックスで示されており、児童が課題解決の過程を意識できるようになっている。</p>	<p>6年 P. 5</p> <p>3年 P. 158、159 5年 P. 172、173</p> <p>4年 P. 30、46、48</p>
116 日 文	<p>○ どのように考えを深め合っていけばよいのかについて、進め方を示すだけでなく、具体を漫画で示すことにより、考え、表現する力を高められるようになっている。</p> <p>○ 「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」には、学習したことと関連した内容が取り上げられており、自主的な学習につながるように工夫されている。</p> <p>○ 児童が学習問題を発見し、追究・解決していく中で生じる新たな疑問を「さらに考えたい問題」として位置付けることで、問題発見・解決能力が育成できるように工夫されている。</p>	<p>4年 P. 48、49 3年 P. 124、125</p> <p>4年 P. 78、79 5年 P. 134、135</p> <p>4年 P. 65 5年 P. 187</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会）種目（地図）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 地図記号の意味は理解できているが、地図から位置や地形、広がりや分布等の情報を読み取ることに課題がある。
- ② 地理的環境の特色や産業の現状等を白地図にまとめていくことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<p>○ 地図のきまりや使い方を漫画仕立てにし、キャラクターたちが地図を作るというストーリーを通して、地図の作られ方やきまりを興味深く学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>○ 「日本の貿易」の資料では、輸入と輸出について見開きで比較できるように地図やグラフが配置され、児童が資料を読み取ったり、比較したりできるように工夫されている。</p> <p>○ 「ホップ/ステップ/マップでジャンプ」が設けられ、児童が地図帳を見ながら問いに答えたり、作業したりすることで発展的な学習に取り組めるようになっている。</p>	<p>P. 7～14</p> <p>P. 75、76</p> <p>P. 3、30</p>
46 帝 国	<p>○ 「地図マスターへの道」では、3段階のレベルで設定された問いが100問掲載されており、児童が興味をもって主体的に地図帳を活用できるように配慮されている。また、社会科の学習内容が併記されており、社会科の学習と地図帳を連動させて活用することができるようになっている。</p> <p>○ 初めて地図帳を手にする第3学年の発達段階を意識した内容で、地図の成り立ちから使い方までを分かりやすく示し、基礎的・基本的な地図活用能力を養えるように工夫されている。</p> <p>○ 「日本の自然災害と防災」では、日本で起きた自然災害や防災の事例を示すとともに、防災マップの具体的な作り方を掲載し、自らの身を守るために何ができるかを考え防災意識を高められるようになっている。</p>	<p>P61、78</p> <p>P. 1～20</p> <p>P. 99～102</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（算数）種目（算数）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 問題を解決する時に、見通しをもって取り組んだり、よりよく問題解決したりしていくことに課題がある。
- ② 既習事項を活用し、図やグラフ等を使って考えたり、説明したりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当ページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元前半は、吹き出しや問いを丁寧に示し、後半はそれらを減らしていくことで、児童が習得した知識や技能を活用していくことができるように工夫されている。</li> <li>○ 単元の導入において、既習事項を振り返りながら児童一人一人が自身の既習内容の定着度を確認できるようになっている。</li> <li>○ 学習のまとめでは、問題解決の過程で働かせる数学的な見方・考え方が分かりやすく示され、それをもとに練習問題に取り組むことができるようになっている。</li> </ul>	<p>5 年下 P. 43～50</p> <p>2 年上 P. 37、38 5 年上 P. 52</p> <p>3 年下 P. 22、23</p>
4 大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達段階に応じて「プログラミングにちょうせん！」のページを全学年に設け、論理的思考が養われるようになっている。</li> <li>○ 「算数の大切な考え方」が各学年の学習内容に応じて掲載されており、基礎的・基本的な知識や技能の定着につながるようになっている。</li> <li>○ 「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感したりできるように工夫されている。</li> </ul>	<p>1 年 P. 132 3 年 P. 100 6 年 P. 176、177</p> <p>2 年 P. 10～15 5 年 P. 10～15</p> <p>6 年 P. 30</p>
11 学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「算数で見つきたい！考え方モンスター」を示すとともに、使ってきた考え方を振り返ることができるように配慮されている。</li> <li>○ 第6学年別冊の「中学校へのかけ橋」では、6年間の学習で身に付けた力を発揮することができるようにするとともに、中学校の発展的な学習に取り組めるようになっている。</li> <li>○ 導入では、ストーリーのあるイラストを用いて生活の場面から課題把握ができるように工夫されている。</li> </ul>	<p>2 年上 P. 9、99 4 年上 P. 9、65</p> <p>6 年別冊</p> <p>1 年上 P. 24 3 年上 P. 88</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末の「4コマ漫画」では、児童が身に付けた力を次の学年につなげたり、生活に生かしたりできるようになっている。</li> <li>○ 「考えるヒント」では、解き方の糸口となるような着眼点が示され、解決につながるよう工夫されている。</li> <li>○ 学年はじめの単元では、問題を発見し、解決していくまでの学習過程が丁寧に扱われている。</li> </ul>	<p>2 年上 P. 32 4 年上 P. 132</p> <p>2 年上 P. 77 3 年上 P. 107 下 P. 63</p> <p>4 年上 P. 26～29 6 年 P. 24～27</p>

61 啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が見通しを立てたり、根拠をもって考えたりする様子が例示されたり、複数の考え方が示されたりしており、思考力、判断力、表現力の育成につながるようになっている。</li> <li>○ 問題と出合ったときの児童の問いや気づきを「学びのめばえ」として掲載したり、「めあて」とそれに対応した「まとめ」を例示したりしており、自ら問いや見通しを立て、主体的に解決に向かうことができるように工夫されている。</li> <li>○ 第2学年以上に「見方・考え方を深めよう」の単元を設定し、問題解決の過程で、図や表や式に表して考えたり伝え合ったりする力が付くようになっている。</li> </ul>	<p>5年P. 52～55 6年P. 42～47</p> <p>4年上 128、129 5年P. 88、89</p> <p>2年上 P. 64～67 3年上 P. 32～35</p>
116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「割合」に関する学習について、第3学年以降に「倍」や「割合」に特化した単元を設け、学習内容を積み上げられるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が数学的な見方・考え方を働かせることを意識できるように、「見方・考え方」がめあての近くに配置されている。</li> <li>○ 学校生活や他教科との関連を意識しながら学習に取り組むことができる場面が取り上げられている。</li> </ul>	<p>3年下 P. 74 4年上 P. 126</p> <p>2年下 P. 71 3年上 P. 67</p> <p>2年上 P. 15 3年上 P. 38</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（理科）種目（理科）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 身の回りの事物・現象について、「理科の見方・考え方」を働かせて、問題解決に取り組むことに課題がある。
- ② 観察や実験の方法やその結果等、科学的な根拠をもとに話し合い、その考察から新たな問題を見いだすことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<p>○ 各学年で育てたい問題解決の力に合わせて「のぼそう！理科の力」のマークが配置されており、思考、判断、表現する力が育まれるように工夫されている。</p> <p>○ 「理科の調べ方を身につけよう」では、探究の過程に沿ったノートの書き方、観察・実験の記録の仕方やまとめ方が示され、児童が書く際の参考になるように工夫されている。</p> <p>○ 理科の学び方について、1. 問題をつかむ、2. 調べる、3. まとめる、広げる、のように大きな問題解決の流れが表記され、それに対応して、「問題をつかもう」、「これから調べることをはっきりさせましょう。」などのように、言葉で具体的に説明されている。</p>	<p>3年 P. 83 4年 P. 52 5年 P. 23 6年 P. 56</p> <p>3年 P. 162、164 4年 P. 180、185 5年 P. 152、153 6年 P. 184、185</p> <p>全学年 P. 4～5</p>
4 大 日 本	<p>○ 「わかったこと」「結論」が「問題」と正対するように書かれていることで、どのような言葉を使って説明すると明確になるか分かりやすくなっている。また、「わかったこと」「結論」に補足の説明が必要な場合には別枠で加えられており、「わかったこと」「結論」が端的なものとなるように工夫されている。</p> <p>○ A判の紙面で、モンシロチョウなどの自然事象の写真をダイナミックに表現しており、児童の興味を引き付けたり観察などをして調べる学習に役立てたりできるように工夫されている。</p> <p>○ 学年を横断した単元の学習内容をまとめた「学びをリンク！」が設定されており、児童が学んだことの確認し、知識をより妥当性の高いものにできるように工夫されている。また、「〇年で学んだこと」や「理科の学びに役立てよう」が配置されており、既習事項を振り返ったり、思考、判断、表現したりすることにつながるように工夫されている。</p>	<p>3年 P. 158、160 4年 P. 46、48 5年 P. 44、48 6年 P. 126、132</p> <p>3年 P. 33 4年 P. 170、171 5年 P. 64、65 6年 P. 6、7</p> <p>4年 P. 25、213 5年 P. 82、173 174 6年 P. 192、193</p>



11 学 図	<p>○ 単元はじめに「できるようになりたい」が示され、児童が身に付ける力を意識しながら学習に取り組むことができるように工夫されているとともに、単元末の「できるようになった」では、自己の学びや成長を振り返り、次の学習に生かすことができるように配慮されている。</p> <p>○ 観察の方法や実験用具の使い方、手順が、短い文と写真で視覚的に分かりやすく示されている。</p> <p>○ 「活用 学びを生かそう」では、説明する場面を設けており、結果や考察したことが深い理解につながるように工夫されている。</p>	<p>3年 P. 7、15 4年 P. 7、15 5年 P. 21、39 6年 P. 11、29</p> <p>3年 P. 179 4年 P. 199 5年 P. 187 6年 P. 229</p> <p>3年 P. 126 4年 P. 171 5年 P. 94 6年 P. 202</p>
17 教 出	<p>○ 観察・実験から得られた結果と予想が一致しない場合を取り上げることで、児童が自分の考えや調べ方を見直し、問題を科学的に解決することの意義を理解することができるように工夫されている。</p> <p>○ 思考の流れが吹き出しとして示されたり、単元の終わりには学習前と学習後の考えの変化が示されたりしており、児童が思考を整理しやすくなっている。</p> <p>○ 補充的・発展的な内容として「チャレンジ」が設定され、児童が学習したことをもとに中学校以上で扱う内容に触れたり、体験活動に取り組んだりすることで、理解を深めることができるように工夫されている。</p>	<p>4年 P. 192 6年 P. 20</p> <p>3年 P. 121～130 6年 P. 151～170</p> <p>4年 P. 109 5年 P. 137</p>
26 信 教	<p>○ 予想したり方法を考えたりする場面では、吹き出しに予想やヒントが示されたり「方法を考えてみよう」が配置されたりしており、既習事項を活用して考えられるように配慮されている。</p> <p>○ 「やってみよう自由研究」では、探究の仕方が順序立てて紹介されており、発展的な学習や家庭学習が行いやすくなっている。</p> <p>○ 「楽しい理科室」が設定されており、児童が安全に観察・実験を行うことができるように配慮されている。また、単元末に単元の学びを振り返る「ふりかえろう」が児童の言葉や図で表され、児童の視点で学習を振り返ることができるようになっている。</p>	<p>4年 P. 120 5年 P. 115</p> <p>3年 P. 66～69 4年 P. 70～73 5年 P. 64～67 6年 P. 62～65</p> <p>3年 P. 8～9 4年 P. 87 6年 P. 6～7</p>
61 啓 林 館	<p>○ 単元導入に「はじめに考えよう」、単元末に「もう一度考えよう」として同じ問題が配置されており、単元内で得た知識を活用できるように工夫されている。</p> <p>○ 「活用しよう」では、学習したことを活用して考えたり、説明したりすることができるように工夫されている。</p> <p>○ 巻末の「伝える」では、話し合いの進め方とともに聞く時や発表する時のポイントが示されており、言語活動の充実が図られるように工夫されている。</p>	<p>5年 P. 15、29 6年 P. 95、112</p> <p>3年 P. 106 4年 P. 178 5年 P. 49 6年 P. 22</p> <p>3年 P. 178 4年 P. 192 5年 P. 184 6年 P. 207</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（生活）種目（生活）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 具体的な活動や体験の中で、学びを進めるために疑問をもったり、気づきを見いだしたりすることに課題がある。
- ② 自分自身や自分の生活について考えたことを、相手や目的に応じて内容や方法を考えて、表現することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<p>○ 発表の仕方をまとめたページでは、単元ごとに発達段階に合わせて、活動の具体が明示されている。また、学んだことのまとめ方が記されており、情報活用能力の育成につながるよう工夫されている。</p> <p>○ 吹き出しにつぶやき例や考えるポイントが示されており、児童が活動や体験の中で自然や公共の場所の特徴に気付いたり、表現したりすることができるようになっている。</p> <p>○ 生き物を実物大で掲載したり、季節ごとに配列したりすることで、児童の興味・関心を促す工夫がなされている。また、掲載されている写真やイラストが大きく示されている。</p>	<p>上 P. 21、49、71、97 下 P. 98、99</p> <p>上 P. 36、37、67 下 P. 62、63、75</p> <p>上 P. 121～128 上 P. 14、15、18 20</p>
4 大 日 本	<p>○ 児童が自分の願いや思いを表せるように、「きもちマーク」が掲載されている。また、「えがおでこんにちは」や「春見つけビンゴカード」などの厚紙のワークシートが付いており、切り取って掲示したり、学習活動に使ったりできるようになっている。</p> <p>○ 「やってみよう生活科」では、生活科の学び方が示されており、児童の思いや願いを大切にして、多様な学習活動が展開できるように工夫されている。</p> <p>○ 「見付けたぞ、夏のこん虫キング」では、虫の写真が鳴き声とともに掲載されており、身近な生き物への興味・関心が高まるようになっている。また「わくわくどきどき夏休み」では、夏休みにできることが分かりやすくまとめられており、家庭での自主的な学習が促されるための工夫がなされている。</p>	<p>上 P. 3、16 下 P. 16</p> <p>上 P. 10、11 下 P. 2、3</p> <p>下 P. 40、41 下 P. 54、55</p>
11 学 図	<p>○ 「ものしりノート」には、観察カードの書き方や野菜の栽培のヒントなどが掲載されており、児童が自ら判断したり表現したりしやすいよう工夫されている。</p> <p>○ 単元の最後に「もっと○○したい」を設けることで、活動を深めたり、広げたりすることができるようになっている。</p> <p>○ 「学び方図かん」では、見たり、聞いたり、発表したりする時のポイントが示され、児童が問題を発見したり、解決したりしていくことができるようになっている。</p>	<p>上 P. 34、35 下 P. 44、45、52</p> <p>上 P. 24、25 下 P. 14、15</p> <p>上 P. 125～136 下 P. 113～128</p>

17 教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元のはじめに「わくわくスイッチ」というフローチャートを設け、児童が自分のことを振り返ったり、学習のねらいをつかんだりできるように配慮されている。また、「もしも」が単元末に提示されており、発展的な学習につながるようになっている。</li> <li>○ 「ヒント」として、内容に応じた多様な学習活動がキーワードとイラストで分かりやすく位置付けられており、活動を通して学習対象の特徴に気付くことができるようになっている。</li> <li>○ 各教科書の巻末に「学びのポケット」が設けられ、他教科との関連が分かりやすくなっており、それぞれの学習場面でどの項目がヒントになるかが示されている。また、情報を分類したり、思考を可視化したりするための方法も取り上げられている。</li> </ul>	<p>上 P. 55、63 下 P. 37、55</p> <p>上 P. 33 下 P. 43</p> <p>上 P. 77、 117～129 下 P. 109～129 99</p>
26 信教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まきものやお願いの手紙等、発達段階や学習内容に応じた表現方法が示されている。また、童謡や詩等が多く掲載され、多様な表現方法に触れることができるように工夫されている。</li> <li>○ 上下巻で「いきものといっしょ」が4回展開され、児童が命の大切さについて、継続的に学ぶことを通して、問題発見・解決能力の育成につながるように工夫されている。</li> <li>○ 「たんごのせっく」「たなばた」等、季節の変化と関わりのある伝統的な行事が数多く取り上げられ、そこに込められた人々の願いや思いを感じ取ることができるように工夫されている。</li> </ul>	<p>上 P. 115、122 123 下 P. 43、57</p> <p>上 P. 44～51 74～79 下 P. 28～31 88～91</p> <p>上 P. 34、35 上 P. 52～55</p>
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「こんなこともあるかもね」には、学びのきっかけや考えるヒントが絵と言葉で掲載されており、考え、表現する活動の充実につながるようになっている。</li> <li>○ 単元の随所に、「保護者の皆様へ」というコーナーを設け、学習のねらいや家庭での発展的な活動、話題提供、活動するうえでの注意点などを掲載し、家庭での自主的なねらいをもった学習活動が展開できるようになっている。</li> <li>○ 生活上で必要な習慣や技能が、学習活動の流れの中で自然と身に付くように位置付けられているほか、別冊「ひろがる せいかつ じてん」にまとめられており、児童が必要に応じて確認することで定着につながるようになっている。</li> </ul>	<p>上 P. 23、37 下 P. 31、63、71</p> <p>上 P. 16、18、29</p> <p>上 P. 76～83 上別冊 P. 4、5</p>
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まとめよう つたえよう」では、活動を通して言語能力や情報活用能力が育まれるように活動例が具体的に示されている。上巻は絵が中心、下巻は文字が中心で学年に応じた表記の工夫もなされている。</li> <li>○ 「かんさつしよう」「やってみよう」では、「ためす」「くらべる」「くふうする」などの考えるための学習活動が例示されており、判断したり表現したりすることにつながるようになっている。</li> <li>○ 各単元において、児童が見通しをもって学習に取り組めるように「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、ページ左上に学習していることがどの段階か示されている。</li> </ul>	<p>上 P. 124 下 P. 122、123</p> <p>上 P. 120、121 下 P. 116、117</p> <p>上 P. 2～13</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（音楽）種目（音楽）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 思いや意図をもって表現することに苦手意識があり、他者と協働して音楽表現を生み出したり、創意工夫したりすることができにくいという課題がある。
- ② 音楽に関する知識や技能の積み重ねが十分ではなく、既習事項を活用して歌ったり、演奏したりすることができにくいという課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年の鍵盤ハーモニカと第3学年のリコーダーの学習では、児童がスモールステップで技能を習得できるようになっているとともに、楽器が大きく掲載されている。また、音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として、ページ上部に例示しており、巻末には「音楽のもと」がまとめられている。</li> <li>○ 「はってん」のマークや「もっとあそぼう」のコーナーが示され、児童の自主的な学習を促す工夫がなされている。また、「学習マップ」が設けられ、題材ごとのポイントや学習の進め方が分かりやすく掲載されており、児童が学習の見通しをもって取り組めるように配慮されている。</li> <li>○ 諸外国に伝わる親しみやすい歌や民謡が、児童が英語で歌えるようにルビ付きで掲載されている。また、共通教材では、歌詞の内容に忠実な写真が折込みで提示されており、児童が歌詞の内容や情景を想像できるように配慮されている。</li> </ul>	<p>1年 P. 32～39 3年 P. 18～25 4年 P. 17</p> <p>4年 P. 17 5年 P. 7 6年 P. 4、5</p> <p>1年 P. 70、71 2年 P. 71 6年 P. 10～12</p>
27 教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年「トルコ行進曲」、第3学年「メヌエット」の鑑賞では、児童が旋律の動きや繰り返しに気付いたり、感じ取ったことを言葉で表現したりできるように絵譜や挿絵が掲載されている。また、学習のねらいやポイントなどが吹き出しに示されており、児童自身が課題解決できるようになっている。</li> <li>○ 「いろいろな音のひびきを味わおう」では、パートの役割や楽器の音色を工夫して合奏できるようなワークシートが示されており、児童が思いや意図をもって演奏できるようになっている。また、各教材のページの端に音楽を形づくっている要素が例示されており、既習事項を活用して、音楽づくりや鑑賞ができるように配慮されている。</li> <li>○ 第3学年以上の口絵では、学習内容に関連した演奏者の対談やコラムが掲載されており、児童が音楽や文化に興味・関心をもてるように工夫されている。また、第6学年の「特集」では、著作権や音楽の役割について取り上げられており、音楽に関わる権利や音楽と生活や社会との関わりについて理解を深められるようになっている。</li> </ul>	<p>2年 P. 42、43 3年 P. 39</p> <p>1年 P. 29 6年 P. 18～21</p> <p>3年以上 P. 2、3 6年 P. 24、25、43</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（図画工作）種目（図画工作）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 表したいことを見付けにくかったり、表したい思いはあるがどのように表現するかが分かりにくかったりするという課題がある。
- ② 材料や用具の扱いに関する経験が不足しており、試行錯誤しながら自分の思いを表現することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
9 開 隆 堂	<p>○ 児童の活動の様子や動きに焦点を当てた写真が多く掲載されているとともに活動のヒントが吹き出しで示されており、児童自らが考えたり表現したりすることにつながるようになっている。</p> <p>○ 学習のめあてが、図画工作科で育成する資質・能力に合わせて各単元に提示されるとともに、特に重点的に取り組むべきめあては、下線と文字の色を変えることで分かりやすく示されている。</p> <p>○ 題材で使用する主な用具や材料がイラストと文字で分かりやすく示されているとともに、他教科等との関連が例示されており、自主的な学習や発展的な学習につながりやすくなっている。</p>	<p>1・2年上 P. 12、13 3・4年下 P. 50、51</p> <p>1・2年上 P. 32 3・4年下 P. 44 5・6年上 P. 34</p> <p>3・4年下 P. 14、15</p>
116 日 文	<p>○ 鑑賞の題材では、児童が話し合う様子や、模造紙に書いて共有している様子など、複数の鑑賞の方法が示されており、言語活動の充実につながるようになっている。</p> <p>○ 「教科書美術館」は、関連する題材のページと連続して配置されており、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○ 学習活動や用具の使い方が写真やイラスト、言葉で分かりやすく示され、知識や技能の定着につながるようになっている。また、考えたり、工夫したりする時のヒントがマークと言葉で位置付けられており、考えたことを表現する力を育むことにつながるようになっている。</p>	<p>3・4年上 P. 49 5・6年下 P. 25</p> <p>3・4年下 P. 22～25 5・6年上 P. 22～25</p> <p>1・2年上 P. 14 3・4年上 P. 43 5・6年上 P. 50</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（家庭）種目（家庭）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 世代の異なる人と関わる機会や生活経験が不足しており、実生活と結び付けて学習内容を理解することに課題がある。
- ② 日常生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する力や課題を解決するために様々な解決方法を考え計画する力に課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての小題材のはじめに学習の「めあて」、終わりにそれに対応した「振り返ろう」を設けて、こまめに学習を振り返り、学習内容が定着するように工夫されている。</li> <li>○ 「生活を変えるチャンス！」として、生活をよりよくするために課題を設定し、計画、実践から評価・改善までの課題解決の過程が具体的に示されることで、学んだことを生かしてより自分の生活に合った取組ができるように工夫されている。</li> <li>○ 調理に関する学習では、調理のポイントを考え、整理できるようにするとともに、家庭での実践につなげられるように配慮されている。</li> </ul>	<p>P. 13、63、120</p> <p>P. 65～67</p> <p>P. 26、89</p>
9 開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手順が分かりやすい横流れの調理や製作の写真が用いられているとともに、見開きで作業の工程が示されており、基本的な知識や技能の定着が図られるように工夫されている。</li> <li>○ 題材の最初のページに、自分の課題や考えを記入できるスペースを設けることで、児童の課題に対する意識を高めることができるようになっている。</li> <li>○ 題材のスタートが「なぜ～だろう」などの問いかけになっていることで、題材を捉える視点が広がり、日常の生活事象に改めて目を向けることで、新たな問題を発見することができるように工夫されている。また、様々な職業の方のインタビューが掲載されており、実生活から課題を見付ける際の一助となっている。</li> </ul>	<p>P. 14、15、30、31</p> <p>P. 10、28 他</p> <p>P. 10、98 他 138、139</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（体育）種目（保健）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 身近な生活における健康に関する課題を捉えることに課題がある。
- ② 学習したことを実生活に生かすことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の流れが「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4つのステップで構成されており、学んだ内容を活用して、身近な課題について、自ら考え、表現したり、学習内容を振り返ったりできるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が課題をつかんだり、解決したりするための資料や写真が大きく、また充実している。</li> <li>○ 多様性を認め合うことにつながる配慮が写真やイラストになされていたり、各章とSDGsとの関連が示されたりしている。</li> </ul>	<p>3・4年 P.7～12 5・6年 P.5～8</p> <p>3・4年 P.28、29 5・6年 P.28、29</p> <p>3・4年 P.1、3 5・6年 P.44</p>
4 大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つかもう」で添付の「折りこみカード」を使用することで、児童の主体的に学習しようとする意欲を引き出せるように工夫されている。</li> <li>○ 学年の終末には、「〇年のまとめ」が配置されており、児童が「◎」「○」「△」で自己評価することで、学習を振り返るとともに、実生活に生かすことができるように配慮されている。</li> <li>○ 学習内容の1時間分が見開きに収められており、児童が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されているとともに、「活かそう」では、習得した知識及び技能を活用して、自分の考えを深める学習活動ができるように記述欄が配置されている。</li> </ul>	<p>3・4年 P.2 5・6年 P.10</p> <p>3・4年 P.23 5・6年 P.19</p> <p>3・4年 P.10、11 5・6年 P.10、11</p>
50 大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「課題をつかもう」では、イラストや吹き出しが配置され、児童が課題をつかみ、見通しをもって解決していくことができるように工夫されている。また、「考えよう」「まとめ 活かそう・伝えよう」が配置されており、課題に即したイラストやグラフをもとに、児童が考えたり、表現したりできるようになっている。</li> <li>○ 「もっと学びを広げよう！深めよう！」では、家庭で取り組める内容が示され、自主的な学習を促す工夫がなされている。</li> <li>○ 各単元の導入のページに著名人とキャラクターの会話文が掲載されており、児童が我が国の伝統文化や国際貢献について、関心をもつことができるように考慮されている。</li> </ul>	<p>3・4年 P.10、12 13 5・6年 P.8、18 19</p> <p>3・4年 P.22</p> <p>3・4年 P.9、25 5・6年 P.7、45</p>

207 文 教 社	<p>○ 単元末には、「わたしの〇〇せん言」が設定されており、児童が学習したことを踏まえて、自分の課題と向き合ったり、友達と交流したりできるように工夫されている。</p> <p>○ 「もっと考えよう課」「もっと知っとう課」では、児童の興味関心を高める内容が掲載されているとともに、学習内容を踏まえた発展的な学習を促す工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習のめあて」、「ミッション」（学習活動）、「もう一歩先の自分へ（本時のまとめ）」という、問題解決学習の流れが統一されている。</p>	<p>3・4年 P. 19 5・6年 P. 19</p> <p>3・4年 P. 31 5・6年 P. 64</p> <p>3・4年 P. 4、5 5・6年 P. 4～7</p>
208 光 文	<p>○ 「心の発達」では、「自分の成長と人との関わり」が見開きで示され、児童が広い視野で心身の健康と成長に向き合えるように工夫されている。</p> <p>○ 「まめちしき」「科学のとびら」では、実践に向けたアドバイスとともに、写真や図などの科学的な資料が取り上げられ、それらの資料から自分の考えをもったり、もった考えを友達と話し合ったりしながら課題解決することができるようになっている。</p> <p>○ 単元のはじめに学習内容について、漫画形式で示されており、児童が課題をつかんだり学習の見通しをもったりできるように考慮されている。</p>	<p>5・6年 P. 10、11</p> <p>3・4年 P. 16、17</p> <p>3・4年 P. 7、23 5・6年 P. 39、53</p>
224 学 研	<p>○ 単元のはじめに「ふり返る」「例を挙げて話し合う」「学びを生かす」という学習の流れが示され、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。また、単元の終わりに「学習をふり返る」ページが配置されており、児童がチェック項目をもとに振り返ったり、実践していきたいことを記述したりできるように工夫されている。</p> <p>○ 「おうちで」「ちいきで」というマークが示されており、児童が家庭での自主的な学習に取り組むことができるようになっている。</p> <p>○ 「ほけんのはこ」には、学習を広げたり、深めたりする資料が掲載され、考えたり、話し合ったりする活動の充実につながるようになっている。</p>	<p>3・4年 P. 8、26 5・6年 P. 8、24</p> <p>3・4年 P. 15 5・6年 P. 71</p> <p>3・4年 P. 15 5・6年 P. 29</p>



岡山市教科用図書選定資料 教科（外国語）種目（英語）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 練習した定型表現は発話できるが、テーマに基づいて会話のやり取りを続けることに課題がある。
- ② 簡単な会話を聞き取ることには慣れてきたが、具体的な情報を聞き取ったり、概要を聞いて捉えたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Enjoy Communication」では、Step2に自分の言いたいことをまとめるコーナーが設けられており、児童が自分の考えをあらかじめ整理することで、内容が充実したやり取りや発表ができるようになっている。また、会話を続ける表現や単語例も掲載されており、言語活動を豊かにする工夫がなされている。</li> <li>○ 「Check Your Steps」が設定されており、児童が思考ツールを使って既習事項を整理し発表できるようになっている。</li> <li>○ 日本の食文化を紹介する活動に続けて世界の料理や食文化に触れるコーナーを設定したり、身の回りのものの産地を発表する活動を設定したりして、日本と世界のつながりへの気付きや異文化理解を促す工夫がなされている。</li> </ul>	<p>5年 P. 44、78 6年 P. 52、76</p> <p>5年 P. 73 6年 P. 37、71</p> <p>5年 P. 66～69 6年 P. 52、53</p>
9 開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Let's Listen and Read」、「Let's Write」では、十分音声で慣れ親しんだ表現を、音声を聞きながら指で追い、書き写すという活動により学習内容の定着を図ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 「Activity3」で身に付けた語句や表現を活用させる言語活動を行う前に「Let's Try4」で設定された思考ツール等により、自分の考えを整理することができるように工夫されている。</li> <li>○ 単元始めに「GOAL」で目標を明確につかんで学習に取り組めるようにし、単元終わりは巻末の「CAN-DOチェック」で自分の達成状況を捉え、次の学習への目標設定を自分でできるように工夫されている。</li> </ul>	<p>5年 P. 53 6年 P. 101</p> <p>5年 P. 102、103 6年 P. 56、57</p> <p>5年 P. 35、128 6年 P. 25、128</p>
15 三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の締めくくりとして「Step-up」、複数単元の締めくくりとして「JUMP」が設定され、既習表現を活用した対話的・協働的な活動となるように構成されている。</li> <li>○ Unitを貫く目標を児童が自ら設定することで、見通しをもって学習を進めることができるようになっている。また、その目標に対する「ふりかえり」だけではなく、Unitの中のLessonごとに「ふりかえり」を設けることで、目標を意識しながら学習に取り組むことができるようになっている。</li> <li>○ 「聞いてみよう」では、動画の視聴を通して、多様な単元のゴールの姿を確認できるようになっている。また、「Tryプログラミング」では、学習者用デジタル教科書を活用して英語表現とプログラミングを合わせて学習できるように工夫されている。</li> </ul>	<p>5年 P. 32～35 6年 P. 30、31、34 35</p> <p>5年 P. 11、19、33 35 6年 P. 11、19、31 35</p> <p>5年 P. 11、41、81 106、107 6年 P. 11、41、81 学習者用デジタル教科書</p>

17 教 出	<p>○ 各単元の学習内容が分かりやすく設定されており、映像の視聴、「Let's listen」、「Activity」の順で無理なく知識・技能の定着を図ることができるようになっている。</p> <p>○ 「Final Activity」では、各単元で学習した語句や表現をまとめて発表したり、やり取りしたりできるような言語活動が設定されている。また、「名所・名物マップ」を基に、児童が言語活動を行ったり、国内外への興味を広げたりできるようになっている。</p> <p>○ 「知らない英語の言葉に出会ったら」では、辞書の使い方を含め、児童が知りたい、表現したいと思った時の対処法について紹介されている。</p>	<p>5年 P. 20～25 6年 P. 10～15</p> <p>5年 P. 26 66～69 6年 P. 84、85 56～59</p> <p>6年 P. 99</p>
38 光 村	<p>○ 「世界の友達・You can do it!」では、外国の文化について資料や映像で知るとともに、地域や日本の魅力を伝える活動が設定されており、日本や外国の文化等について多面的に学ぶことができるようになっている。</p> <p>○ 単元の構成が「Story」（導入となる場面を見る）、「Listen」（聞く活動）、「Let's chant」（チャンツによる練習）、「Let's try」（話す活動）、「Let's write and read」（読む・書く活動）とスモールステップになっていることにより、基礎・基本の定着を図ることができるようになっている。</p> <p>○ 学期の終わりに「You can do it!」というコーナーが設けられ、学習した表現を使って即興的に答えたり、ある程度続けて会話したりすることができる発展的な活動が配置されている。</p>	<p>5年 P. 98～101 6年 P. 40～43</p> <p>5年 P. 50～55 6年 P. 14～19</p> <p>5年 P. 101 6年 P. 73</p>
61 啓 林 館	<p>○ 「Did you know?」「Did you know?プラス」では、Unitに関連した世界の様々な文化情報やSDGsの取組が紹介されていたり、世界各国の子ども達が自分の国のことなどを話す様子が掲載されていたりすることで、世界の人々とのコミュニケーションに欠かせない異文化理解を促すことができるように工夫されている。</p> <p>○ 「Challenge」では、既習事項の復習の後、表やグラフ、パンフレット等を見ながら英文を聞いて必要な情報を読み取る発展的な学習が行えるように工夫されている。</p> <p>○ 「Chant」や「Activity」を通して、インプットとアウトプットを繰り返し、語句や表現を身に付けることができるようになっている。また、「Activity」では巻末のWord Listから言いたいことを選んで表現することができるようになっている。言語活動の充実につながるように工夫されている。</p>	<p>5年 P. 20、102 103 6年 P. 22、48、49</p> <p>5年 P. 43、77、101 6年 P. 47、81、103</p> <p>5年 P. 35、37、93 6年 P. 29、31、53 95</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（特別の教科 道徳）種目（道徳）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 道徳的価値についての理解を自分との関わりで捉え、自分自身の体験やそれに伴う感じ方、考え方などを表現し合い、自分の考えを深めることに課題がある。
- ② 実際の場面において、道徳的実践に結び付けたり、自分から他の人に関わろうとしたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<p>○ 各学年の巻頭の「どんな学びをするのかな？」では、教材で学んだことを基に、自己を見つめる際の考え方が例示されており、学んだことをこれからの生活や学習に広げていくことができるように工夫されている。また、教材末に、道徳科の授業で考えたことと他教科等や日常生活とのつながりを示唆する「つながる・広がる」が設けられている。</p> <p>○ 登場人物の立場に立って考えやすい挿絵が掲載されているとともに、「考えよう」では、ねらいに迫ることができる発問が示されており、児童が道徳的価値についての理解ができるように配慮されている。</p> <p>○ 各学年巻末の「考えるためのツール」には、自分の考えを可視化し、話し合いを促すツールが例示されたり、第4学年以降には、「心情円」が用意されたりしており、言語活動の充実が図られるように工夫されている。</p>	<p>4年 P. 27 5年 P. 83 6年 P. 6、7 各学年巻頭</p> <p>3年 P. 111 6年 P. 114</p> <p>3年 P. 176</p>
17 教 出	<p>○ 教材の最後にあるデジタルコンテンツ「学びリンク」から、関連する図書やウェブサイトが紹介されており、道徳科の授業で学んだことをもとに児童の興味・関心を高め、学習を広げることができるように工夫されている。</p> <p>○ 「やってみよう」では、児童が役割演技を通して考え、表現することで、考えを深めることができるように工夫されている。</p> <p>○ 各学年の巻頭に道徳の学び方が掲載されており、話し合ったり、演じたり、書いたりすることで、言語能力が育まれるように工夫されている。</p>	<p>3年 P. 6、53 5年 P. 6、151 6年 P. 6、125</p> <p>3年 P. 81 5年 P. 93</p> <p>1年 P. 4、5 6年 P. 4、5</p>
38 光 村	<p>○ 「考えるヒント」では、児童が考えを整理し、深めていくための様々な活動が紹介されており、主体的に道徳的価値や自己の生き方について、考えを深めたり表現したりできるようになっている。</p> <p>○ 各教材の「つなげよう」で、学んだことに関連する問いかけや、補充・発展的な資料や課題が提示されたり、絵本作家による書きおろし「なんだろう なんだろう」が掲載されたりしており、児童が主体的に補充的な学習や発展的な学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○ 第3学年から第6学年の巻末には、思考ツールや話し合い活動を紹介する「学びの道具箱」が発達段階に応じて掲載されており、関連する教材の学習と結び付けて扱うことで、系統的に言語能力や情報活用能力が育まれるように工夫されている。</p>	<p>4年 P. 29、81 6年 P. 109、194</p> <p>2年 P. 13 4年 P. 14 5年 P. 94～95 6年 P. 24</p> <p>3年 P. 172、173 4年 P. 180、181 5年 P. 188、189 6年 P. 204、205</p>

116 日 文	<p>○ 「ぐっと深める」というページが設定され、自分との関わりで問題を捉え、考える活動を促す発問や具体的な活動例が示されるなど、児童が自分の考えを深めたり、友達と話し合ったりできるように工夫されている。</p> <p>○ 各教材の冒頭に、道徳的価値に関わる課題の投げかけと教材のあらすじが示され、「考えてみよう」に、登場人物の気持ちを考えることを通して道徳的価値を捉えていくための発問が示され、さらに「見つめよう・生かそう」の発問が示されており、自分との関わりで教材を通して道徳的価値を理解することができるように工夫されている。</p> <p>○ 別冊の「道徳ノート」は、発問が固定されておらず、自由記述欄が上段と下段に分かれているため、授業展開に応じた活用ができるように工夫されている。</p>	<p>3年 P. 24、25 5年 P. 146、147</p> <p>2年 P. 30、33 3年 P. 76、79 6年 P. 54、57</p> <p>各学年道徳ノート</p>
208 光 文	<p>○ 巻頭に「いろいろなやりかたで考えてみよう」「話し合ってみよう」「まとめよう・ふりかえろう」のコーナーを設け、多様な考え方や話し合いの仕方、考えをまとめて表現するためのポイントが、発達段階を踏まえて示されている。</p> <p>○ 各教材の冒頭に道徳的価値に関わる投げかけが示されたり、「かんがえよう」では、ねらいに迫る発問例、「まとめよう」では、道徳的価値について考えを深めていけるような発問例が示されたりしており、児童が主体的に道徳的価値について考えることができるように工夫されている。</p> <p>○ 全学年対話ツールとして「ことばのカード（対話ツール）」が提示されており、児童が主体的に言葉を選択し、言語活動が充実するように工夫されている。</p>	<p>各学年 P. 6～9</p> <p>3年 P. 92～97 5年 P. 98～101</p> <p>各学年 P. 8</p>
224 学 研	<p>○ 自分の考えや思いを書き込める記入欄を設定することで、言語活動を充実させるとともに、気づきや思いを記入して可視化させ、児童が課題に気づき、解決する力を育むことができるようになっている。また、「心のパスポート」では、学んだことに関連する資料や発展的な課題が掲載されており、児童が考えを深めることができるようになっている。</p> <p>○ 教材の冒頭に、文中の1節を示し、教材への興味がわくように工夫されている。また、「ふかめよう」では、学びの過程を具体的に示すことで、児童が見通しをもって主体的に道徳的価値について考えていくことができるように工夫されている。</p> <p>○ 内容項目「生命の尊さ」について、各学年で3教材設定しているとともに、教材を組み合わせたユニットとして構成することで、「いのち」について多面的・多角的に考えを深められるように工夫されている。</p>	<p>1年 P. 51 2年 P. 53 4年 P. 153 6年 P. 83</p> <p>1年 P. 56、59 3年 P. 50、53</p> <p>5年 P. 35～P43</p>